

令和2年12月24日

湯沢町長 田村 正幸 様

湯沢町総合計画審議会

会長 宮見英司

湯沢町総合計画案について（答申）

令和2年11月17日湯企政第99号で諮問のあった標記の件について、当会議において慎重かつ集中的に審議を重ねた結果、別添のとおり意見を取りまとめましたので答申します。

なお、貴職におかれましては、昨今の不安定な社会情勢を踏まえ、様々な手法による財源の確保に努めるとともに、効率的、効果的な行政運営を図り、総合計画に基づく施策の実施を進めるよう希望します。

## 第1部 序論について

### 第2章 湯沢町の特性

- (1) 年齢3区分別人口の推移については、住民基本台帳の数値を活用するなど直近の値とされたい。
- (2) 観光客数の推移において、外国人観光客数の推移も載せられたい。

### 第3章 町民の意識

満足度と重要度の相関関係について、図などを用いたわかりやすい表現とされたい。

### 第5章 まちづくりの課題

- (1) 4魅力ある産業と働く場の創出に、女性の社会進出や活躍の支援などについても追記されたい。
- (2) 6税収の確保と健全な財政運営の税収の見込みについて、新型コロナウイルス感染症拡大がもたらす経済への影響ということも追記されたい。

## 第2部 基本構想について

町の持つ個性や優位性などを具体的に示した記載とされたい。

## 第3部 前期基本計画について

### 【全体にかかる内容】

成果指標は、施策を推進した成果として何を目指すのかを意識し、5年後の評価が意義のあるものとなるような指標とされたい。

### 基本政策1 魅力にあふれ、活力と賑わいのあるまちづくり

#### 1-1 観光の振興

施策が目指す姿について、湯沢町の持つ立地優位性や、他の地域とは違う特徴的な目指すべきポイントについての表現を加えられたい。

#### 1-2 商工業の振興と雇用・就業支援の充実

- (1) 施策の方向に、女性の就労支援を追加されたい。
- (2) 施策の方向「労働力の確保」に、語学力やITの知識などのスキル向上など、人材育成についても記載されたい。

### 基本政策2 地域で支え合い、笑顔があふれるまちづくり

#### 2-1 健康づくり・介護予防の推進

- (1) 成果指標について、健康づくりの指標の半分が自殺関連なのはバランスが良くないと感じるため、自殺関連の指標は一つとし「健康寿命」など他の指標を検討されたい。
- (2) 施策の方向「こころの健康づくりの推進」について、こころのケアに加え、法律相談等の経済的なケアに関することも追記されたい。

## 2-4 子ども・子育て支援の充実

人口が少ない町において、少人数の変化でも大きく影響される「合計特殊出生率」は成果指標に向いていないと考える。

## 2-5 障がい者支援の充実

施策の方向「社会参加に向けた支援の充実」のタイトルについて、就労や日中活動などわかりやすい表現を加えられたい。

## 2-6 地域医療体制の強化

施策の方向「湯沢病院の機能維持」について、湯沢病院の機能を向上させるような表現を加えられたい。

# 基本政策3 自然と共生し、安全・快適に暮らせるまちづくり

## 3-1 自然環境の保全と共生

施策の方向「自然・景観に配慮した土地利用の推進」について、「自然と共生」という表現を「自然と景観に配慮した」という表現にされたい。

## 3-4 道路環境・公共交通の充実

湯沢町の立地や冬場の特徴的な交通環境を活かすといった表現や、環境に配慮した表現を加えられたい。

## 3-5 防災・減災対策の充実

- (1) 防災訓練の参加率、参加者数を成果指標とされたい。
- (2) 防災などの情報提供について、多言語に対応していくといった表現を加えられたい。

# 基本政策4 個性を伸ばし、文化を育むまちづくり

## 4-1 学校教育の充実

- (1) 施策の方向「特色のある教育の推進」について、観光や雪、大自然など、もっと湯沢町の特徴を活かした教育を進めるような表現とされたい。また、語学やIT教育の推進についても記載されたい。
- (2) 保・小・中一貫校であることを活かし「異年齢間の交流」といった特色もえた記載とされたい。

# 基本政策5 新たな時代に対応した、地域ぐるみのまちづくり

## 5-1 若者の移住・定住促進

- (1) 成果指標に、人口の社会増減数を加えられたい。
- (2) 「住まい」に関する施策を加えられたい。

## 5-2 Society5.0への対応促進

- (1) Society5.0について、例示するなど、誰が何をするのかわかりやすい表現とされたい。
- (2) Society5.0の取り組みの成果として適当な成果指標を定められたい。

## 5-4 多様な協働による町政運営の推進

- (1) 「行政の情報が入手しやすいと思っている人の割合」はオープンデータの活用促進を示している5-2 Society5.0への対応促進の指標とすることを検討されたい。
- (2) 施策の方向「関係人口の創出・拡大」について、観光の交流人口ともかかわるので、観光の分野に記載することを検討されたい。

## 5-5 持続化可能で健全な施策の推進

- (1) 「職員の資質・能力に満足している人の割合」について、職員の資質・能力の向上度を判断できるほど、接している町民がどれほどいるのか疑問があるため、他の成果指標を検討されたい。
- (2) 施策の方向「電子自治体の推進」について、情報通信や先端技術を活用した内容になると思われる所以Society5.0に関係する分野に記載することを検討されたい。